

■発行者
立野台3-15-1
座間市議会
自民党・いさま議員団
団長 京免 康彦



自民党・いさまの
広報誌はHPでも
ご覧いただけます

自民党・いさま だより

最終日に3億9,411万円の 補正予算案提案予定も異例の取り下げ

令和4年第2回定例会は、5月24日から6月22日までの日程で開催されました。今定例会は、専決処分についての議案2件、本年度の一般会計補正予算1件の上程からはじまったものの、閉会5日前の議会運営委員会で、急遽プレミアム付き商品券事業を実施するため、3億9,411万円の補正予算を上程したいと行政側から説明。しかし最終日には取り下げるといった異例の事態が発生しました。

令和4年第2回定例会
最終日に上程予定であつたプレミアム付き商品券事業については、説明会資料を見る限りは、目的については、「新型コロナウイルス感染症の影響により売り上げが低迷している中、さらに、物価高騰等の影響を受ける市内中小事業者の経営維持及び市民の生活支援を目的に、市内店舗で利用可能な商品券を発行し、商品券配布対象を市民に限定することで市内の消費喚起と地域経済の循環を促進すること」とされてきました。また、予算額は真水規模で3億9,400万円余、事業規模

では総額10億円であり、販売冊数10万冊、1冊7,000円で1万円分の商品券（プレミアム率43%）を一世帯最大10冊まで購入可能としていました。財源は一般財源を充てるとしていましたが、本年4月に国が確定した新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金（原油価格・物価高騰対応分）を見込んでいたことは明白でした。

上記の補正予算案が委員会付託も行われず、即決議案で出てくるというところで（詳細は裏面に記載）、我々も慎重かつ建設的に審査ができるよう情報を集め、本会議に臨む準備をしていましたが、最終日朝に各会派の代表者が集められ、佐藤市長から「原油価格や物価高騰に対してさらに広くきめ細やかな施策と合わせて提案することで、市民生活や市内企業などへの支援につながるものにしていきたい」と急遽議案を取り下げる意向が伝えられたことで、ドタバタ劇場は終焉。令和4年第2回定例会の表面上は事なきを得て閉会いたしました。

水道料金の減免を 求める意見書提出

令和4年第2回定例会のやり取りの中から、新型コロナウイルス感染症

対応地方創生臨時交付金（原油価格・物価高騰対応分）について当局内で混乱していることが明らかなることから、我々『自民党・いさま』はさま大志会、座間市公明党と共に定例会閉会後の6月24日に全世帯に公平に適した形で支援ができるよう、市長に水道料金の減免等を求める意見書を提出致しました（意見書は左記載）。

臨時会で商品券& 水道料金減免

7月6日には令和4年第1回臨時会が開かれ、プレミアム付商品券事業費2億5,261万円余と水道料金の減免を行ったため水道事業会計負担金1億9,424万円の補正予算案が上程されました。臨時会で提案されたプレミアム付商品券事業は、販売冊数は12万冊

1冊3,500円で5,000円分の商品券（プレミアム率43%）を1世帯15冊まで購入可とし、紙の商品券と合わせて電子クーポンも導入されます（8月販売予定）。また、水道料金の減免は、水道使用料を一律で20パーセント減免。期間は令和4年10月から令和5年3月検針分までで、市営水道を使用している市民および事業所など約63,000件が想定されています。

今回の一連の対応については疑義が生じることはあったものの、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金（原油価格・物価高騰対応分）の活用に適した事業になったと捉え賛同いたしました。

令和4年6月24日

座間市議会
議員名 京免 康彦

自民党・いさま
さま大志会
座間市公明党

緊急要望

コロナ禍における原油価格・物価高騰は、市民生活にもたらす企業経営（産業界）・生産者（農業）にまで大きな影響を与えている。本市議会には、農業分野においては燃料・肥料・飼料価格の高騰への対応として「各種生産者補助金」が実施されている。しかし、企業分野からは燃料・原油価格の高騰による企業活動への影響を懸念する声があり、商業分野では特に飲食業界からは引続くコロナ禍による影響のような状況に加え、物価高騰による消費者の購買力の低下などの声も聞かれている。さらには高齢者や障害者など特に生活に困窮している市民も少なくない。

我府は新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金（コロナ禍における原油価格・物価高騰対応分）を適切に活用し、「市民生活の困窮」により、地域の実情に応じての必要な施策を行うべきである」とされている。

一方、原油価格・物価高騰は生活者、事業者の区分なく全ての市民等に影響を及ぼしていることを認めれば、この交付金を活用し、市民生活に困窮している市民等に公平公正であると考え、

我々、自民党・いさま、さま大志会、座間市公明党に所属する16名の議員は、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金（コロナ禍における原油価格・物価高騰対応分）の使途について、以下の項目について要望する。

記

一、市民、事業者問わず一律に水道料金の基本料金を予算の範囲内で減免、減額する。その他、例えば、水道料金を及び水道使用料の10%を減額するなど全ての市民等にかけ抜いての事業を実施する。

・上記事業はいつでも市民が申し込むことができるように市民からの申請は不要である。以上

一致団結！ 自民党・いさま議員団

京免 康彦 ☎ 252-0760	吉田 義人 ☎ 258-0965	萩原 健司 ☎ 090-8942-8753	竹田 陽介 ☎ 252-2036	熊切 和人 ☎ 090-3108-8176	高波 貴志 ☎ 090-7213-9299	内藤 幸男 ☎ 216-8083	清水 剛 ☎ 090-9837-5486

主 張

令和四年七月八日午後五時三分、元内閣総理大臣安倍晋三先生が凶弾に倒れ、ご逝去された。心からご冥福をお祈り申し上げます。

民主主義の根幹を成す選挙期間中のテロ行為など言語道断であり、犯人に厳しく抗議するとともに、公安当局においては徹底的な検証により再発防止に努めて頂きたい。

さて、令和四年第二回定例会では様々な珍事が起きた。毎度恒例となってしまう、立憲民主党の女性議員による本会議における「歌唱」のパフォーマンスには辟易とするが、それよりも驚かされたのは、当局から提出された議案が、上程前となる閉会日直前に突如として取り下げられたのだ。

さらに理解に苦しむのは、議会に示した内容を超越した記事が地方紙に掲載され、あるタウン紙には不可解な記事が掲載されている点である。

一つには、議案が示された際、当局からは「一般財源」を充当する説明であったものが、市長の会見を受けて記事にした地方紙には「地方創生臨時交付金」を充当すると明記されている点である。

また、タウン紙においては「関係者への取材をまとめると」としたうえで、「市長と距離を置く複数会派の議員を中心に市長の政治手法などに対する不満が噴出」と書かれているが、これまでの同紙記事から推察すると私ども『自民党・いさま』もその対象となっていると理解できるが、少なくとも私どもの会派の議員が正式に取材を受けた事実はない。また、「佐藤市長は本会議で否決される可能性が高いと分析」とあるが、議会出身の首長の判断としてはあり得ないことである。議会は、示された議案についての議論を行い、最終的に可否についての判断をする場ではないのか。少なくとも私どもは「賛否ありき」で議会に臨んでいるわけではない。

会派内では、その議論の場（常任委員会などへの付託）が用意されなかった提出の在り方に対する意見は出されたが、何より提案予定であった事業では原油・物価高騰の影響を受ける市民生活の支えとして不十分ではないか、という議論がなされた。

質疑内容は議会側から事前に通告が行われ、それを受けて「反対される可能性」があるという理由で、内容の是非を議論、判断する本会議上程前に議案を取り下げると言うならば、議会軽視も甚だしいのではないかと。議員経験のある首長（経験がなくてもだが）の行動として、断じてあるまじき行為であり猛省を促す。

結果として、定例会閉会直後に「ざま大志会」「座間市公明党」の2つの会派と共同で提出した水道料金の減免などを求めた緊急要望は、その後に開かれた臨時議会で提出、可決され事業執行を待つばかりであるが、佐藤市政の迷走ぶりに振り回されるのは当局職員や議会だけではなく、一番の被害者は市民であることを深く理解すべきである。

令和4年第3回定例会日程表

8月24日(水)	開会・提案説明
25日(木)	総括質疑
8月31日(水)	
9月1日(木)	一般質問
2日(金)	
9月28日(水)	討論・採決・閉会

各常任委員会の開催日

企画総務	9月6日(火)	9日(金)
民生教育	9月7日(水)	12日(月)
都市環境	9月8日(木)	13日(火)
予算決算	8月25日(木)	9月16日(金)



定例会の内容は
録画中継で確認
できます

*新型コロナウイルス感染症対策のため、傍聴はなるべくお控えください

★令和4年第2回定例会の一般質問★

京免 康彦

- 1 立野台コミュニティセンターの維持管理について

竹田 陽介

- 1 「座間市ゼロカーボンシティ」について
- 2 地域防災計画について

高波 貴志

- 1 水道スマートメーターの導入について
- 2 情報公開について

熊切 和人

- 1 都市計画道路座間南林間線について
- 2 空き家の利活用・対策について

荻原 健司

- 1 通学路等における歩行者等の安全対策について
- 2 コロナ禍における原油価格高騰等による農業など市内産業への影響に対する支援について

内藤 幸男

- 1 子ども政策について
- 2 新型コロナウイルス感染症に関する施策の検証について

清水 剛

- 1 ニュースポーツ多目的広場について
- 2 こころの相談支援センターについて
- 3 地域活動支援センターについて